

## 「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

### 学校法人神理学園たんぽぽ 保育園

2年前、第三者評価に参加し、再評価の判定を受けた項目に関して、昨年度から全職員で納得がいくまで話し合いを重ねてきました。たんぽぽ保育園では、アートディレクターを配置しての独自のアート活動や、野菜作りからのクッキングなどの食育活動を展開していたにもかかわらず、全体的な計画に生かされていなかった点をふまえ、詳細な計画を組み込みやすくするために冊子形式にし、独自性を明確にすることが出来ました。

このことで、指導計画を作成する際にも全体的な計画のねらいや内容について一貫性をもって作成できるようになったと思います。

また、子どもの人権については、0歳から3歳の子どもたちが異文化に関心が持てるようにするための取り組みとして、黒人人形のトム君がアメリカからやってきたという設定をきっかけにして、環境に地球儀や世界地図、世界を意識した絵本を取り入れることから始め、次第に子どもたちは他の国への関心を持ち始めました。11月20日の「世界こどもの日」に初めてのイベントも開催しました。世界の国旗を飾り、スクリーン上で世界を旅し、アメリカのわらべうた「月ようびはなにたべる？」の英語バージョンの動画を観賞、そして全員で「小さな世界」を歌って踊るなどで大いに盛り上がりました。

再評価にならなければこのような会をすることはなかったもので、これは大きな収穫であり、「世界こどもの日の会」を今後も行事に取り入れることに決めました。その他にも、「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を使った研修、差別用語に関する研修について、正職やパート保育士だけでなく、代替保育士も含め全員が参加し、人権について多くの学びがありました。

第三者評価に参加する事で気づきや得るものが多くありました。しかし、子どもたちが健やかに成長するよう真摯に向き合い保育していることは、この第三者評価に参加する前と今とで何ら変わりありません。参加したこの数年間は、こうした日々の保育の上に更なる努力が重なり、保育士の仕事量は確実に増えました。今後の第三者評価の在り方や評価の基準や方法について、大きな負担にならないやり方への改正を望みます。